

「CORONAに負けるな！」



実りの2学期に望むこと！

例年がない、特別な夏休みが終わりました。子供達は、どのように過ごしていたのか？様々な規制の中での毎日が続いたことでしょうか。心が痛みます…。しかし、下ばかり見てはいけません。私達大人が率先し、前を見据え、夢を語り start を切らねばと思う次第。

さて、話は変わりますが、本校教育に携わり約1年半。2学期始めという区切りに、子供達の良さや課題について整理しておきましょう。

まずは、本校の子ども達の素晴らしさから。

◎休まず元気に登校できる！

不登校児童がいることが当たり前になってきている昨今ですが、約230名の児童が一人も欠けることなく元気に登校しています。不登校「0」は奇跡的なこと！

「わんぱくでもいい、逞しく育て欲しい」というコマーシャルがありました。正に、その気分です。学校が楽しい場所で有り続けられるよう、これからも努力していきます！

◎明るく素直！

子どもはみんなそうじゃないの…。いやいや、初めはみんなそうでも、どこかで曲がってしまうことが…。しかし、本校の子は、この言葉通り！なぜでしょうか。それはきっと、保護者の方の無償の愛は勿論、地域の方の見守りがあるからでしょう。それに手前味噌ですが職員の厳しくも温かい指導があつてのことなのでは…。これからも「心から可愛がる」を胸に共に邁進して参りましょう！

次に、残念なことですが・・・。

●主体性がもっと身につけば！

「自主・自発」という言葉があります！何事にも前向きに、目標をもって取り組むということ。このことは、人生を力強く生きるための基本だと思っています。しかし、残念なことに、ここが弱い。もっと前に出て良いかな？西部の子。「自分達の手で何かを創り出す」ぜひ、そんな姿を後押ししていければ。

ぽかぽか家族

愛読している雑誌（ニューモラル）に、家族の絆に関するエッセイが掲載されていました。題名は「なぐさめルール」、小学校5年生の作品です。

私の家には「なぐさめルール」があります。例えば、道でふざけたりして父が私達をしかると、母がなぐさめてくれます。私と弟がケンカしたりして母が私をしかるときは、父がなぐさめてくれます。私と弟が二人一緒ではなく、一人だけがしかられる日もあります。私が悲しき持ちは、弟がティッシュをもってかけつけてくれます。弟が悲しくて、部屋のすみっこで丸くなっているときは、私がヨシヨシに行きます。（中略）

落ち込むことがあっても、誰かが自分のことを気にかけてくれると安心します。「なぐさめルール」があるおかげで、私はいつも前を向いて進んでいける気がします。

もうこれ以上言葉は要りませんね。「誰かが気にかけてくれている」ただ、その実感だけで良いのですね！



2学期の見通しを改めて！

1学期末にも簡単な紹介をしておりましたが、2学期の学校行事の見通しを改めてお知らせ致します。

①「体育大会」について

◎午前中開催(8:30～12:00予定)

◎昼食なし

◎参加は、各家庭2名まで(密を避けるため)

◎児童テントを優先し設営するため、地区テントについては、設営予定なし

②「修学旅行」について

◎今のところ予定通り

◎事前に参加への同意書を戴くこととなります。

全校的な行事については、以上です。学年単位での行事については、学年だより等で早めにお知らせを致します。

皆様方には、色々ご心配をおかけしますが、新型CORONAの状況を見ながらの判断が今後も続きます。変更等もあるかと思いますが、ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

